

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2001-116462 (P2001-116462A)
 【公開日】平成 13 年 4 月 27 日 (2001.4.27)
 【出願番号】特願 平 11-291303
 【国際特許分類第 7 版】

F 2 7 B 9/24

C 2 1 D 1/00

C 2 1 D 11/00

【F I】

F 2 7 B 9/24 E

C 2 1 D 1/00 1 1 2 D

C 2 1 D 11/00 1 0 5

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 9 月 2 日 (2004.9.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

処理品の搬送方向に沿って入口トンネル、加熱部、炉尻部が連続し、前記炉尻部の下方に炉尻開口を有する加熱室が、積載台の後端に接して、インラインに配置されている炉本体と、前記加熱部及び炉尻部に設けられた加熱源と、前記積載台の上面付近に設けられて前記処理品の搬送方向に対して水平な搬送レベルを有するローラコンベア上から前記加熱室の前記入口トンネルと前記加熱部とを縦貫する水平な炉床面上を連続して移動した後、前記炉尻開口の直下において反転して前記加熱室の下側を通り前記積載台に戻る順路内を連続して循環するよう構成され、前記積載台上で積載された前記処理品を前記加熱室内へ搬送して、前記炉尻開口から前記加熱室外へ取り出す無限軌道構成の高温用メッシュベルトと、前記積載台の下部に戻った前記高温用メッシュベルトの部分に係合して同高温用メッシュベルトの戻り側を牽引し、それに連続する搬送側部分を前記処理品の搬送方向へと駆動する牽引駆動装置とを備えてなるメッシュベルトコンベア無酸化雰囲気熱処理炉において、前記牽引駆動装置を作動させ前記積載台上において前記高温用メッシュベルトに載せた前記処理品を前記入口トンネルを通して速やかに前記加熱部に送り込んで停止させる第 1 工程と、前記停止の間に前記加熱部に送り込まれた前記処理品の温度を前記加熱源により所定のプログラムに基づき昇温しその温度に所定時間保持する第 2 工程と、この第 2 工程の完了後に再び前記牽引駆動装置を作動させて前記加熱部の前記処理品を前記炉尻開口から前記加熱室外へ取り出す第 3 工程よりなることを特徴とするメッシュベルトコンベア無酸化雰囲気熱処理炉の操炉方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 2】

前項の発明は、加熱室内に不活性ガスを供給することが好ましい。このようにすれば、加熱室内には処理品の酸化、脱炭などを防止する雰囲気形成される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】符号の説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【符号の説明】

【符号の説明】

1 0 ... 加熱室、1 1 ... 入口トンネル、1 2 ... 加熱部、1 3 ... 炉尻部、1 3 a ... 炉尻開口、
1 4 a ... 炉床面、1 5 ... 入口扉、1 6 ... 入口バツフル、1 7 ... 中間バツフル、1 8 ... 出口
バツフル、2 0 ... 積載台、2 1 ... ローラコンベア、2 5 , 2 6 ... 加熱源（ヒータ）、3 0
... 牽引駆動装置、3 2 ... 炉尻ローラ、4 0 ... メッシュベルト、5 3 ... 中間扉、A ... 搬送方
向、W ... 処理品。